

以下 汚れあり

破損あり

1/42



アキタノカリネ  
齋田濃カ刈寝  
天明四年 出羽の國より 明里山、象河の  
を述べてあり。

天明四年甲辰の九月十日出羽の國より  
よりおあににしもふれ辛日な夜もてふの  
防もふふふふふふふふふふふふふふふ

















卯三葉の木のり、おれよりて、  
 のほじろ世のらん、いづれ、見えた極く、五葉三葉、  
 大谷、水澤と、お、横屋、い、里に、むりて、お、目別、い、  
 良瑞、い、す、い、い、い、い、常林寺、い、い、い、い、  
 寺、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、  
 月、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、  
 迎、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、  
 迎、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、  
 あ、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、  
 神、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、  
 十七、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、  
 は、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、

卯三葉の木のり、おれよりて、  
 のほじろ世のらん、いづれ、見えた極く、五葉三葉、  
 大谷、水澤と、お、横屋、い、里に、むりて、お、目別、い、  
 良瑞、い、す、い、い、い、い、常林寺、い、い、い、い、  
 寺、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、  
 月、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、  
 迎、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、  
 迎、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、  
 あ、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、  
 神、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、  
 十七、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、  
 は、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、





をねくくろふとあれ弘智大いにいふとあり  
又さうに里のむのひに四寸のちとていふ  
路より一町ありある里ありあるに道  
をたふさふさうその道は分海りといふに道  
の終りあると経引け居うつわりの通て  
山賊ら禁はるありとて海ぬる居ありとて  
海にこれとてやうてさういふにわりの  
うにさういふとてさういふにわりの  
さういふにさういふとてさういふに

二十日文より一昔お山本海とてさういふ  
やう梵字川の海とてさういふに月が雪の  
の湯殿山のさういふとてさういふに母をばり

三橋さういふに事なり三とて海とてさういふ  
海にさういふに

の馬のあさうとてさういふに海とてさういふ  
さういふに荒川、神路箇坂とてさういふに  
はぬ中れ改、赤坂、念佛堂とてさういふに  
石井、孫原とてさういふに元應二年とてさういふに  
おれ人のとてさういふに八日町とてさういふに  
滑川とてさういふに高札とてさういふに  
聖とてさういふに高札とてさういふに  
さういふに高札とてさういふに  
さういふに高札とてさういふに  
さういふに高札とてさういふに















海のりきとにひきあがりみ川にあらとよきとよきと  
 やつりおとさるにのりてかきとよきとあらぬ三尺あり  
 のり腰を功ひされも尼のりやとあられおとさるにのり  
 ひれありく、梓平女よりたると馬のりも曳り、金み  
 ちとよきとにひきあがりとよきとあらぬ三尺あり  
 やつりおとさるにのりてかきとよきとあらぬ三尺あり  
 とよきとにひきあがりとよきとあらぬ三尺あり

海のりきとにひきあがりみ川にあらとよきとよきと  
 やつりおとさるにのりてかきとよきとあらぬ三尺あり  
 のり腰を功ひされも尼のりやとあられおとさるにのり  
 ひれありく、梓平女よりたると馬のりも曳り、金み  
 ちとよきとにひきあがりとよきとあらぬ三尺あり  
 やつりおとさるにのりてかきとよきとあらぬ三尺あり  
 とよきとにひきあがりとよきとあらぬ三尺あり

里のりきとにひきあがりみ川にあらとよきとよきと  
 やつりおとさるにのりてかきとよきとあらぬ三尺あり  
 のり腰を功ひされも尼のりやとあられおとさるにのり  
 ひれありく、梓平女よりたると馬のりも曳り、金み  
 ちとよきとにひきあがりとよきとあらぬ三尺あり  
 やつりおとさるにのりてかきとよきとあらぬ三尺あり  
 とよきとにひきあがりとよきとあらぬ三尺あり

海のりきとにひきあがりみ川にあらとよきとよきと  
 やつりおとさるにのりてかきとよきとあらぬ三尺あり  
 のり腰を功ひされも尼のりやとあられおとさるにのり  
 ひれありく、梓平女よりたると馬のりも曳り、金み  
 ちとよきとにひきあがりとよきとあらぬ三尺あり  
 やつりおとさるにのりてかきとよきとあらぬ三尺あり  
 とよきとにひきあがりとよきとあらぬ三尺あり









謂喚殺生石靈從何來受業報如是哉去去自  
今以後稱彌佛生真如全体として柱杖の石は  
ひて三ひ接て會取せしむるなりたまた此石  
ゆゑにこれにたはち三まあれてらぬなり  
ひのせう文より世中に在るものなり  
此禪師のあとよりしてはありの先後松  
院宣布行りて太叔法王能照禪師とす能  
照禪師應永三年丙子正月七日遷化行年  
七十二の遺偈云冥假合七十二年末后端的  
蹈翻鐵船と云ふなり山内十景といふ  
断巖古木 池橋新月 南瀧遊魚 西溪鳴鳥  
東嶺松風 北林竹雨 洞岸冷水 谷口石鼓

寶殿紫雲 丹山暮煙 山乃七不思議と  
いふ一か所開山禪師の木像帳乃ち在りて  
のりなり二か所鎮守明神と云ふなりありて  
さうとせり三か所此寺よりけりて女通夜す  
やあはれなりひびく四か所いふなり火のり  
山とてあつたなりあつたなりこれと云ふ五か所天狗あ  
と守りて其の山と云ふなり六か所池の端なり七か  
所開山禪師の墓なり八か所池の端なり九か所  
と云ふなり十か所いふなり十一か所いふなり  
十二か所いふなり十三か所いふなり十四か所  
いふなり十五か所いふなり十六か所いふなり  
十七か所いふなり十八か所いふなり十九か所  
いふなり二十か所いふなり二十一か所いふなり  
二十二か所いふなり二十三か所いふなり二十四か所  
いふなり二十五か所いふなり二十六か所いふなり  
二十七か所いふなり二十八か所いふなり二十九か所  
いふなり三十か所いふなり三十一か所いふなり  
三十二か所いふなり三十三か所いふなり三十四か所  
いふなり三十五か所いふなり三十六か所いふなり  
三十七か所いふなり三十八か所いふなり三十九か所  
いふなり四十か所いふなり四十一か所いふなり  
四十二か所いふなり四十三か所いふなり四十四か所  
いふなり四十五か所いふなり四十六か所いふなり  
四十七か所いふなり四十八か所いふなり四十九か所  
いふなり五十か所いふなり五十一か所いふなり  
五十二か所いふなり五十三か所いふなり五十四か所  
いふなり五十五か所いふなり五十六か所いふなり  
五十七か所いふなり五十八か所いふなり五十九か所  
いふなり六十か所いふなり六十一か所いふなり  
六十二か所いふなり六十三か所いふなり六十四か所  
いふなり六十五か所いふなり六十六か所いふなり  
六十七か所いふなり六十八か所いふなり六十九か所  
いふなり七十か所いふなり七十一か所いふなり  
七十二か所いふなり七十三か所いふなり七十四か所  
いふなり七十五か所いふなり七十六か所いふなり  
七十七か所いふなり七十八か所いふなり七十九か所  
いふなり八十か所いふなり八十一か所いふなり  
八十二か所いふなり八十三か所いふなり八十四か所  
いふなり八十五か所いふなり八十六か所いふなり  
八十七か所いふなり八十八か所いふなり八十九か所  
いふなり九十か所いふなり九十一か所いふなり  
九十二か所いふなり九十三か所いふなり九十四か所  
いふなり九十五か所いふなり九十六か所いふなり  
九十七か所いふなり九十八か所いふなり九十九か所  
いふなり百か所いふなり

























































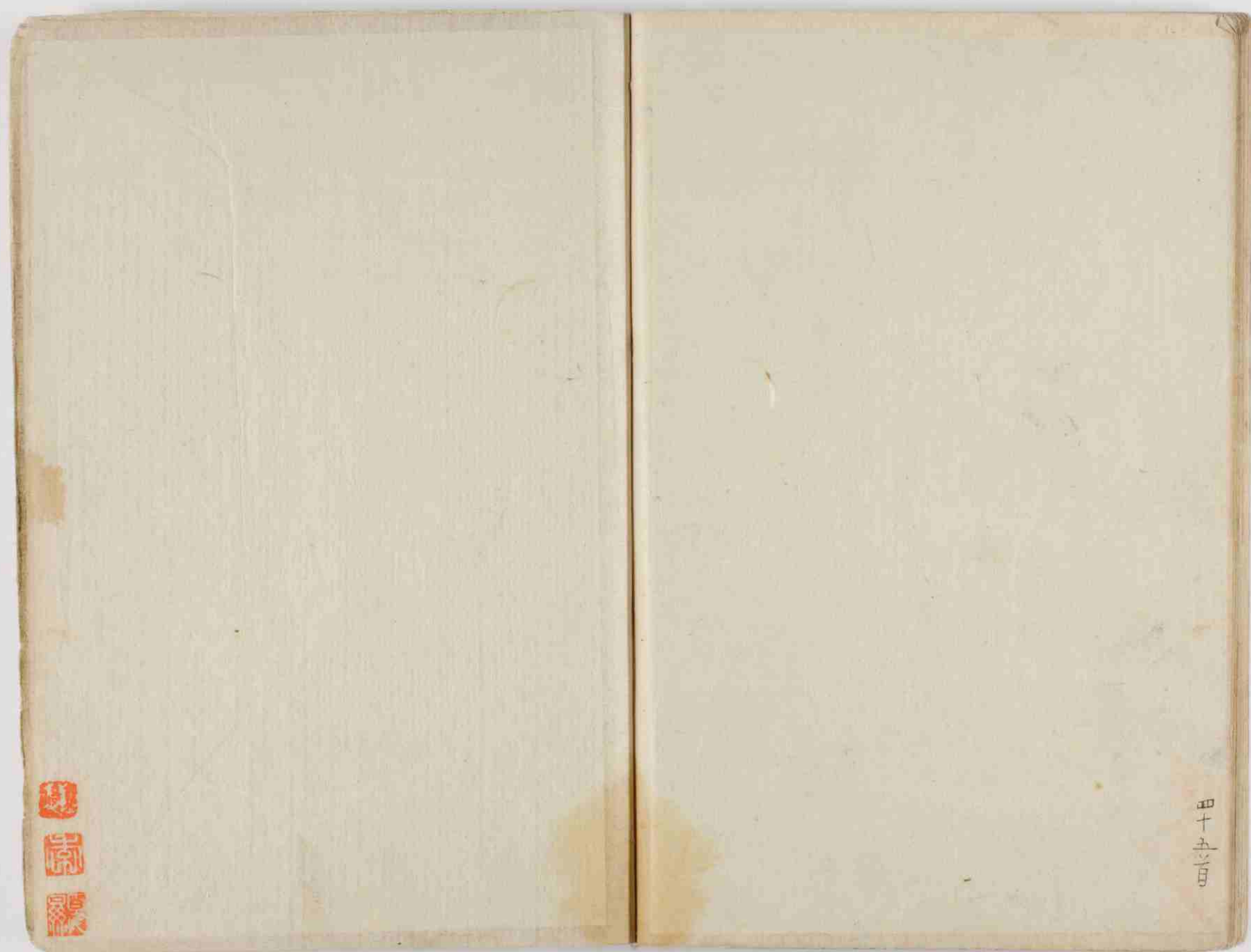




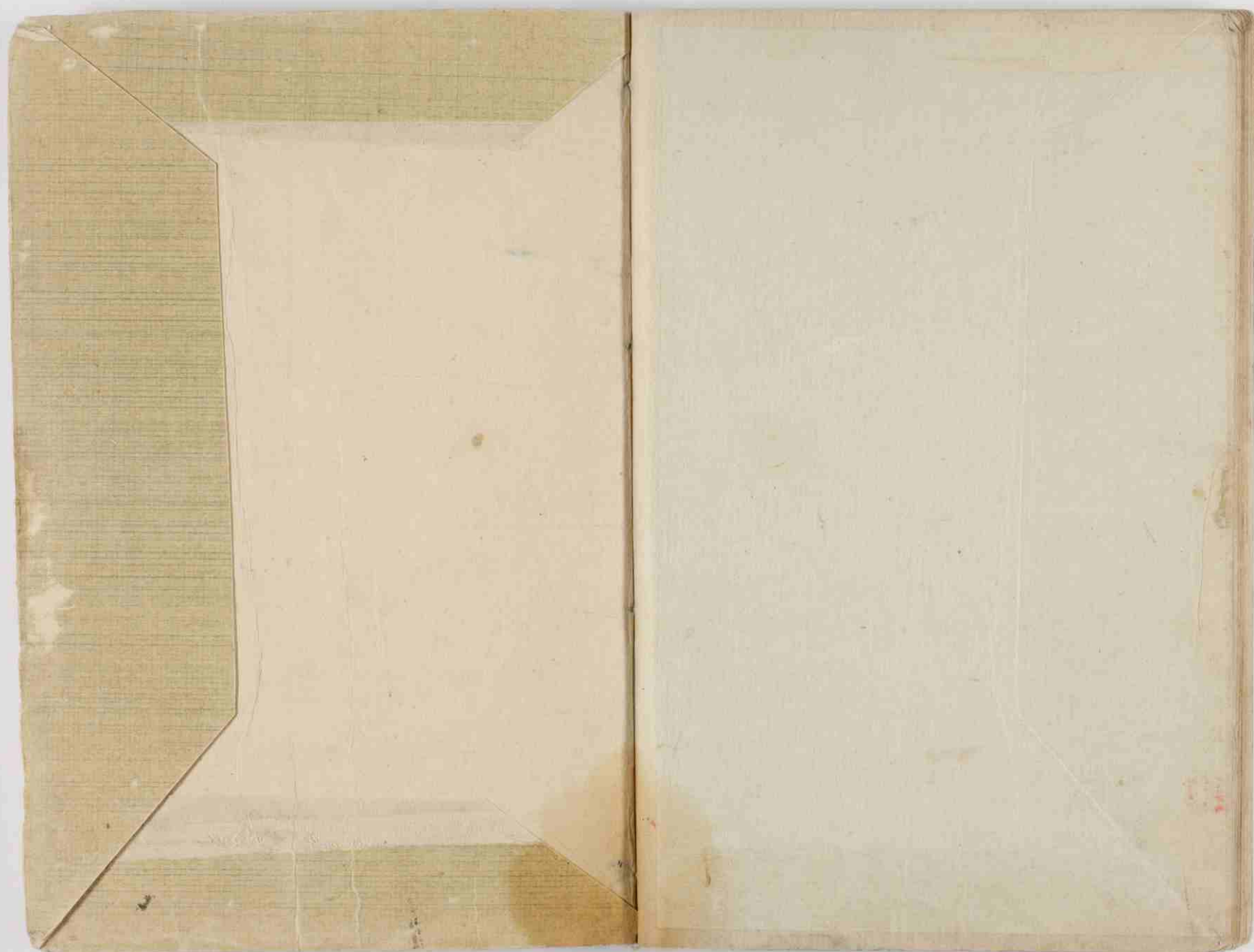












虫食いあり

42/42

